



日本フィルハーモニー交響楽団

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

∞ 第700回特別記念東京定期演奏会 ∞

2018 5.18 (金) 18:20 開場 19:00 開演 / 19 (土) 13:30 開場 14:00 開演 サントリーホール

プレトーク
「本日の聴きどころ」
13:00 開場
13:10~

ストラヴィンスキー： ペルセフォーヌ

台本：アンドレ・シド（フランス語上演 / 字幕つき）

Igor STRAVINSKY: "Perséphone" Melodrama en trois Tableaux d'André Gide

日本
初演

ペルセフォーヌ：ドルニオク綾乃

Perséphone: DRUNIOK Ayano

ユーモルプ：ポール・グローヴス

Eumolpe: Paul GROVES, Tenor

合唱：晋友会合唱団

Chorus: Shinyukai Choir

児童合唱：東京少年少女合唱隊

Children's Chorus: The Little Singers of Tokyo

指揮：アレクサンドル・ラザレフ

[桂冠指揮者兼芸術顧問]

Conductor: Alexander LAZAREV, Conductor Laureate

The performance of this work is licensed by Schott Music Co. Ltd., Tokyo
on behalf of Boosey & Hawkes Music Publishers LTD

プロコフィエフ：交響的協奏曲 ホ短調 op.125

Sergei PROKOFIEV: Sinfonia Concertante in e-minor, op.125

チェロ：辻本玲 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Violoncello: TSUJIMOTO Rei, JPO Solo Violoncello

©堀田力丸

主催 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

特別協賛

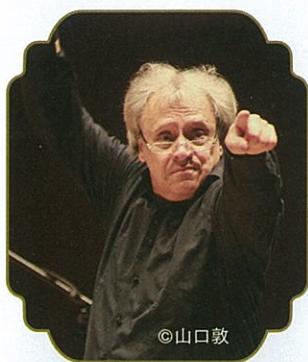
MUFG 三菱UFJニコス株式会社

協賛 鹿島建設株式会社 昭和シェル石油株式会社 株式会社ティーガイア フジテレビジョン 三井不動産株式会社 株式会社リヨーサン パイオニア株式会社

後援 駐日ロシア連邦大使館 ロシア連邦交流庁(Rossotrudnichestvo)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会
公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団





©山口敦

指揮 アレクサンドル・ラザレフ [桂冠指揮者兼芸術顧問]

ロシアを代表する指揮者の一人。2008年9月から8年にわたり日本フィル首席指揮者を務め、1秒たりとも無駄にしない徹底したリハーサルで演奏水準を引き上げた。「ラザレフ効果」と評され、2016年9月には桂冠指揮者兼芸術顧問となる。

モスクワ音楽院でL.ギンズブルグに師事、同音楽院を首席で卒業。数々のコンクールを制し、1987年から1995年にかけてボリショイ劇

場の首席指揮者兼芸術監督を務め、黄金時代を築いた。

数多くのCDをリリースしており、ボリショイ管、BBC響、ロンドン・フィル、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管等との録音があり、日本フィルとは就任以来合計14枚のディスクをリリースしている。



©竹原伸治

チェロ 辻本玲 [ソロ・チェロ] 公式サイト <http://www.rei-tsujimoto.com>

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席卒業（アカンサス音楽賞受賞）。ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、シベリウスアカデミー、ベルン芸術大学に留学。

第72回日本音楽コンクール第2位、第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）他、数々のコンクールで入賞している。2015年日本フィルのソロ・チェロ奏者に就任。

メタ・ワツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。

使用楽器は、NPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。



ナレーション ドルニオク綾乃

1988年東京都出身。17歳でフランス、マルセイユStudio Ballet Collet Armandにバレエ留学。帰国後、日本大学芸術学部演劇学科に入学し、コンテンポラリーダンサー、舞台女優としての活動を始める。在学中より本格的に声楽の勉強を始めた。2015年パリ地方音楽院声楽科、専門課程卒業。

2010年TPT「かもめ」ニーナ役に抜擢。2013年11月パリ、UCJF劇場にて《愛の妙薬》

アディーナ役で出演したのをはじめ、ヨーロッパ、日本でオペラ・ガラに出演。草津国際夏期音楽アカデミーフェスティバルではエリック・サティ音楽喜劇「メデューサの罠」にフリゼット役で出演。

中国中央戲劇学院主催「第一回アジア演劇大学学生演劇祭」最優秀演技賞（2010年）、日本大学芸術学部学部長賞（2011年）受賞。



テノール ポール・グローヴス

1964年アメリカ合衆国、ルイジアナ州生まれ。メトロポリタン歌劇場を中心に、欧米のオペラハウス、コンサートで活躍する。

メトロポリタン歌劇場のYoung Artists Development Programを卒業後、『さよよるオランダ人』の操舵手でMETデビューをかざる。その後、25シーズンを通じMETの多くの演目で主要キャストを務める。METライブビューイングを通じて日本でも多くのファンを生んだ。

エクサン・プロヴァンス音楽祭（2015）及びリヨン歌劇場（2016）でピーター・セラーズ演出によるストラヴィンスキー『ペルセフォーヌ』にユーモルプで出演。

小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラのペートーヴェン交響曲ツイクリスでは第九（CD化）、NHK交響楽団《エディプス王》などにもタイトルロール出演。



合唱
晋友会合唱団



児童合唱
東京少年少女
合唱隊

©LSOT